

(4) 水道料金改定案

17

18

料金改定の考え方

✓ 目指すべき料金体系

→基本料金の考え方（固定費の割合を高める）

→従量料金の考え方（均一単価が理想）

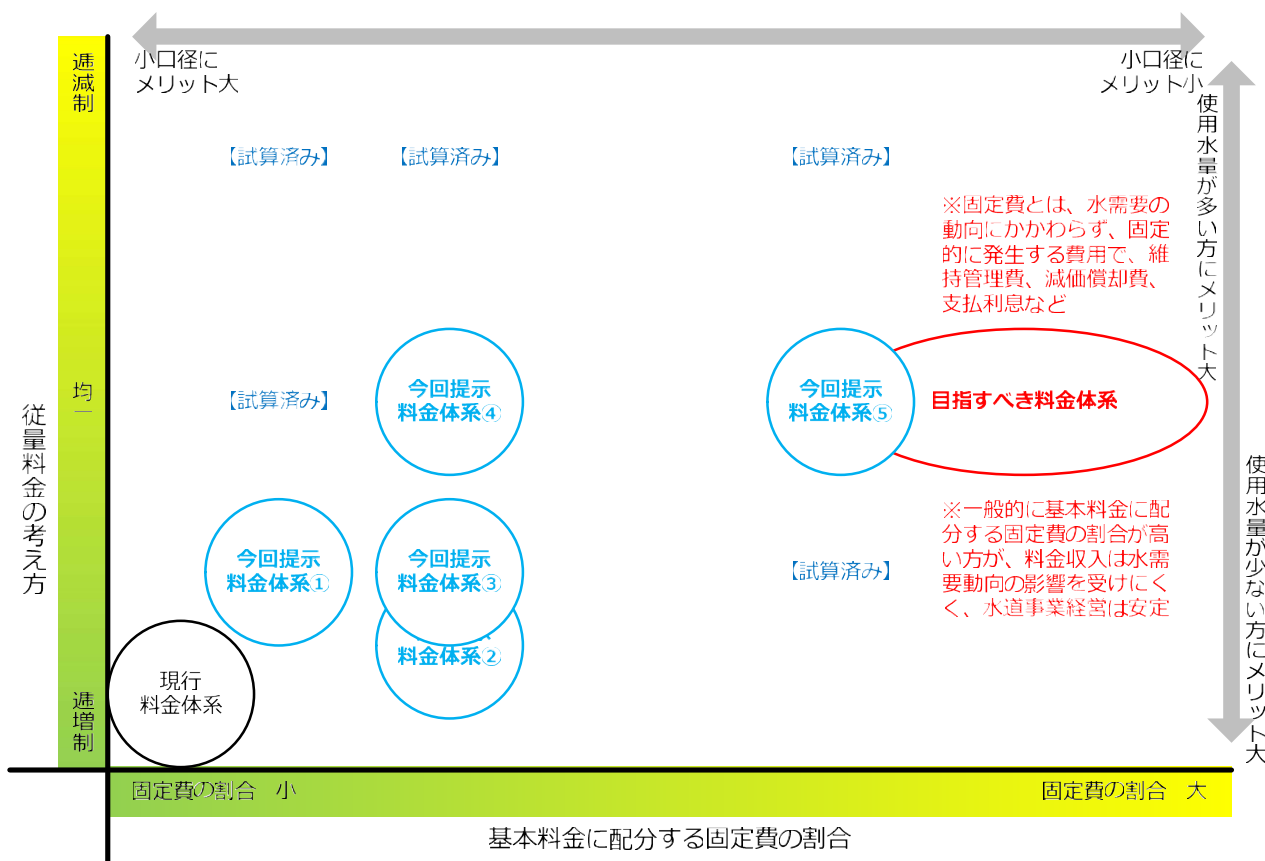
✓ 代替案の設定

→目指すべき料金体系に向けた段階的な取り組み

→今回で目指すべき料金体系とすると、料金が激変するため、激変緩和のために段階的な対応が必要

→5つの代替案を提示

19



20

代替案のまとめ

	基本料金の固定費割合	従量料金の考え方	全体の料金改定率	基本料金 (円/件)								従量料金 (円/m3)				
				メーター口径 (mm)								使用水量(m3/月)				
				13	20	25	40	50	75	100	150	~10	~20	~40	~80	80超
料金体系①	5%	一定逦増	18.16	450	550	700	1,400	2,000	4,000	7,500	15,000	70	110	170	190	210
料金体系②	10%	配慮逦増	18.07	550	700	1,000	2,000	3,000	5,000	10,000	30,000	50	120	170	190	210
料金体系③	10%	一定逦増	18.09	550	700	1,000	2,000	3,000	5,000	10,000	30,000	70	100	160	180	210
料金体系④	10%	一律	17.85	550	700	1,000	2,000	3,000	5,000	10,000	30,000	111	111	111	111	111
料金体系⑤	50%	一律	17.68	1,100	2,200	3,500	9,000	15,000	30,000	60,000	150,000	74	74	74	74	74

	基本料金 (円/件) ※基本水量として5m3								従量料金 (円/m3)					
	メーター口径 (mm)								使用水量(m3/月)					
	13	20	25	40	50	75	100	~10	~20	~40	~60	~80	80超	
現行料金	450								90	105	130	155	185	215

※詳細は別紙の参考資料参照 21